

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）			
科目名	学校と教育の歴史	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	History of School and Education	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	いちほら みつまさ	開講期間	□前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	市原光匡	修得単位	2単位	
授業のテーマ	主として近現代の西洋・日本の教育の歴史を学ぶとともに、教育史研究の意義について理解する。			
授業概要	教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解し、説明できること。 2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解し、説明できること。 3. 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解し、説明できること。 4. 教育の歴史を学ぶことの意義を理解し、教育史の知識を活かせること。 			
授業時間外の学習	高校までの世界史、日本史の授業をふりかえり、教科書を読みかえしておくこと。各国各時代のできごとや特徴をおさえておくこと。			
履修条件	特になし。			
授業計画				
第1回	ガイダンス			
第2回	中世以前の西洋の教育			
第3回	実学主義と教育－ラトケとコメニウス			
第4回	近代教育の思想と実践－18世紀西洋の教育（1）子どもの発見			
第5回	近代教育の思想と実践－18世紀西洋の教育（2）近代公教育の思想			
第6回	公教育と教育思想－19世紀の教育（1）学校の普及と拡大			
第7回	公教育と教育思想－19世紀の教育（2）教育の方法論			
第8回	新教育の理念と展開－イギリス・フランス・ドイツの新教育運動			
第9回	新教育の理念と展開－アメリカの進歩主義教育運動その他			
第10回	日本の教育史－古代・中世日本の教育			
第11回	日本の教育史－近世日本の教育			
第12回	日本の教育史－近代日本の教育			
第13回	日本の教育史－大正自由教育運動と戦間期の教育			
第14回	20世紀以降の教育－西洋各国の教育改革			
第15回	20世紀以降の教育－戦後日本の教育改革			
第16回	定期試験			
テキスト	テキストは特に指定しない。なお、授業のレジュメ（要約）のプリントを配布する。			
参考文献・資料	柴田義松・斎藤利彦〔編〕『教育史』学文社、2005。その他必要に応じて授業中に適宜指示する。			

成績評価の方法	平常点 30%、定期試験 70%の比率で評価する。 ・出席回数が規定に満たない場合は定期試験を受験することができない。
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	① 毎週火曜 10:40~12:10 ② 毎週金曜 10:40~12:10
学生への メッセージ	さまざまな人物が登場するが、人物ごとに思想や実践をまとめておくと、その後の授業や教育全体の理解に役立つ。